



# 熊本地震における要援護者の避難支援手法の提案

崇城大学 古賀都市計画研究室

志賀あゆみ 今村勇希 富田真央 中原正隆

田子森優斗 國武美咲 垣添早耶

## 毎日新聞の記事(2017年4月25日)



### 熊本地震

福祉避難所機能せず 利用わずか104人

毎日新聞 2016年4月25日 07時00分 (最終更新 4月25日 07時00分)



母の秀子さんを抱えるように立たせる松岡貞次郎さん。1日に何度もこの動作を繰り返す=熊本市東区の市立長嶺小学校で2016年4月24日午後1時13分、須賀川理撮影

熊本地震で4万人近くが避難する熊本市で、高齢者や障害者ら「災害弱者」を受け入れる福祉避難所の利用者が24日現在でわずか104人にとどまっている。市は国の方針に従って176施設を福祉避難所に指定し、災害時には約1700人を受け入れられるとされていたが、実際は施設側の準備や要支援者への周知はほとんどされなかった。多くの災害弱者が、設備やサポートのない場所で過酷な生活を余儀なくされている可能性がある。【村田拓也、石川貴教】

福祉避難所の必要性は1995年の阪神大震災でクローズアップされ、厚生省(当時)が9

7年、全国の自治体に指定を推奨。2007年3月の能登半島地震で初めて設置された。国によると、13年6月現在で福祉避難所を指定している市区町村数は1167で、全体の約67%に達する。

熊本市は、災害時に自力での避難が難しい市民が約3万5000人いると想定し、福祉施設を受け入れ先として活用できるよう、14年度までに社会福祉法人など8団体と協定を締結。約1700人の受け入れ枠を確保したとされていた。

だが、16日の本震を受けて市が福祉避難所を開設できたのは、受け入れ先とされていた176施設のうち34施設。市は「施設に問い合わせが殺到し、現場が混乱する」として市民に広く開設を知らせず、避難所を巡回する市の保健師が聞き取り調査で介護などが必要と判断した場合のみ、施設ごとに交渉していた。それでも「対応する人も足りず、入所者がいるので場所もない」(市内の福祉施設)などの理由で断られることも多かったという。

20日段階で36人しか受け入れていないことが判明し、市は21日になって指定していなかった県身体障がい者福祉センター(同市東区)を福祉避難所として開設。有料で貸し出していた個室を災害弱者は無料で利用できるようにした。市は「協定を結んでいる施設の受け入れ態勢が整わなかった」と説明する。

内閣府が今年4月にまとめたガイドラインには、福祉避難所に指定された施設などの場所を、あらかじめ要支援者や住民などに周知するよう明記されている。担当者は「普段から広く周知しておかなければ『あそこに行けば安心』という場所に行けない」と指摘する。

## 「熊本地震 福祉避難所機能せず 利用わずか104人」

災害時に自力での避難が難しい市民が約35,000人いるという想定に対し、熊本地震が発生した4月14日から**10日後である24日現在でわずか104人にとどまっている。**  
市は「協定を結んでいる施設の受け入れ態勢が整わなかった」と説明する。

**平時(日常)だけでなく  
災害時も支援が必要!**

## 調査概要

「災害時における福祉避難所等の設置運営に関する協定」を熊本市と締結した高齢者福祉施設や障がい者支援施設等176施設に電話によるヒアリング調査を実施し、許可を頂いた171施設にアンケート調査を実施した。

	福祉避難所等として 開設した	福祉避難所等として 開設しなかった	合計
熊本市から 開設要請を受けた	44	7	51
熊本市から 開設要請を受けなかった	9	44	53
合計	53	51	104

・アンケート配布数  
171部 有効回答数104(61%)

・配布・回収方法  
郵送, 手渡し, 電子メール

## 福祉避難所等の開設状況

	福祉避難所等 として開設した	福祉避難所等 として開設しな かった	合計
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けた	44	7	51
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けなかった	9	44	53
合計	53	51	104

回答施設の5割弱が熊本市から福祉避難所等として開設要請を受けた。

## 福祉避難所等の開設状況

	福祉避難所等 として開設した	福祉避難所等 として開設しな かった	合計
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けた	44	7	51
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けなかった	9	44	53
合計	53	51	104

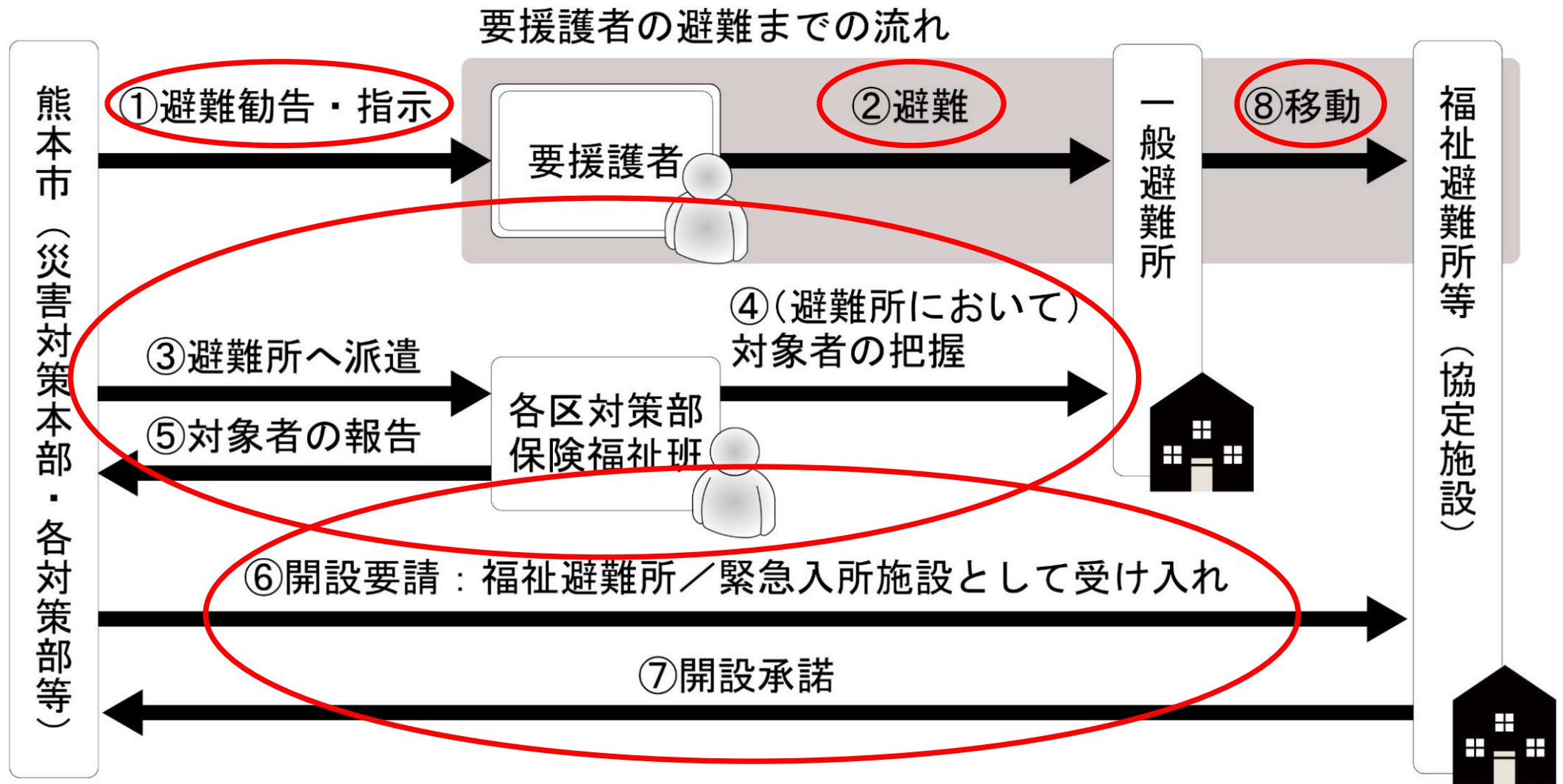
回答施設の**5割強**が福祉避難所等として開設した(熊本市と連携して要援護者を受け入れた)。

## 福祉避難所等の開設状況

	福祉避難所等 として開設した	福祉避難所等 として開設しな かった	合計
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けた	44	7	51
熊本市から福祉避難 所等としての開設要 請を受けなかった	9	44	53
合計	53	51	104

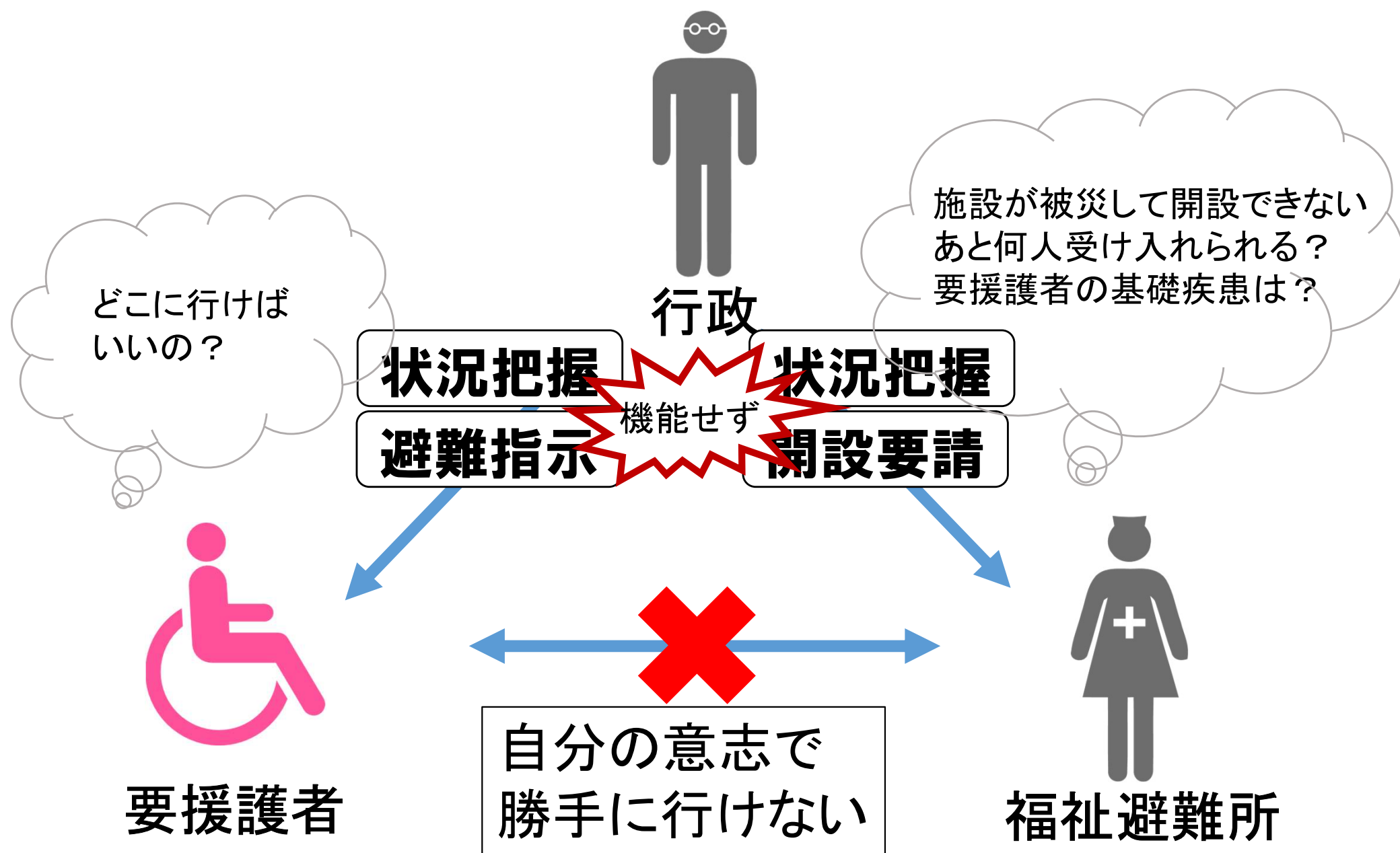
熊本地震の発生から1週間未満で福祉避難所等として開設していたのは回答施設のなかでも3割弱の施設（104施設中27施設）のみという結果であった。

# 要援護者の福祉避難所開設までのフロー



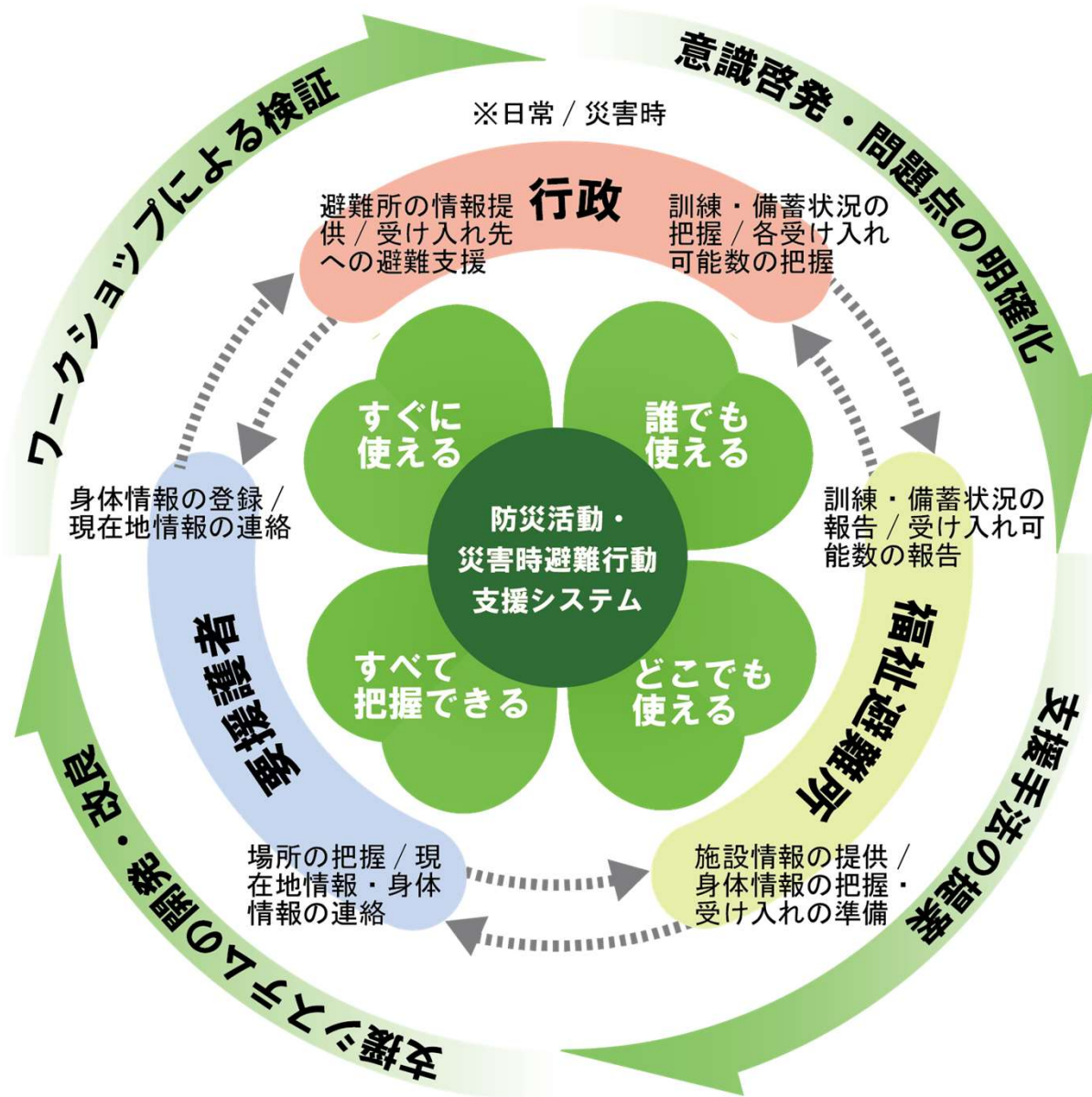
熊本市「福祉避難所等の設置運営マニュアル」より

# 災害時における行政・福祉避難所・要援護者の関係





# 防災活動・災害時避難行動支援システムコンセプト



- ①すぐに使える
- ②誰でも使える
- ③すべて把握できる
- ④どこでも使える

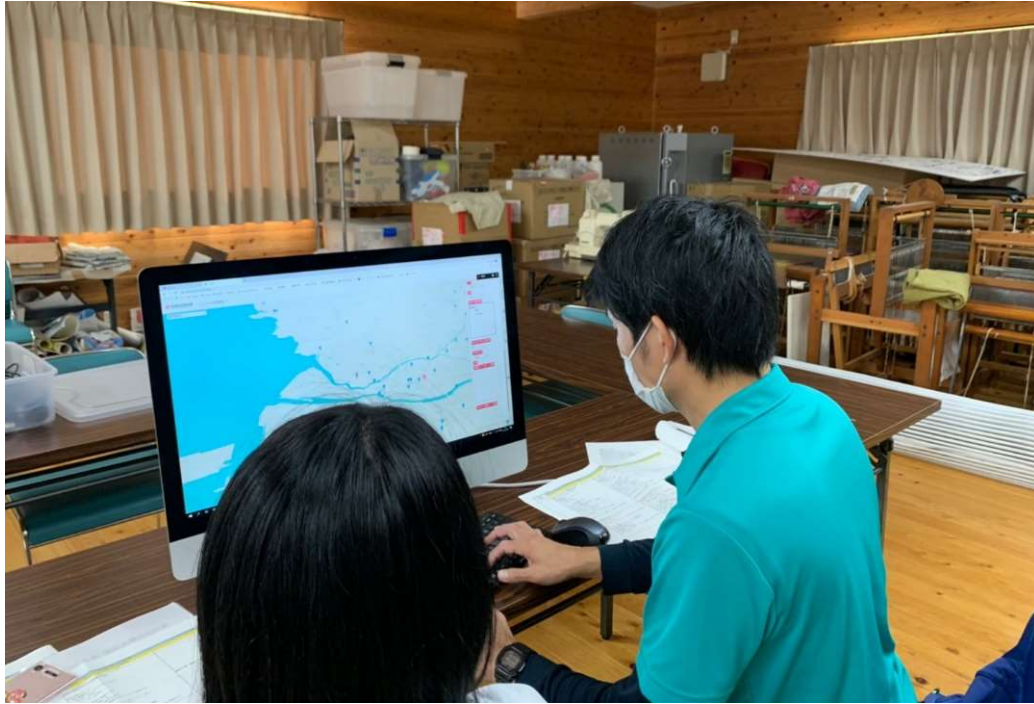
本システムのユーザーは、**要援護者、福祉避難所等、行政（熊本市）**の三者であり、災害時に多くの要援護者が安全に福祉避難所を利用できることを目的とし、**防災活動、災害時、復興・復旧、記録と課題**のフェーズそれぞれを支援する。

# 10月28日防災訓練(実証実験)

The image is a composite of several elements:

- Map:** A central map showing evacuation routes with various markers. A legend on the left indicates '福祉避難所の場所' (Welfare Evacuation Site) and '一般避難所の場所' (General Evacuation Site).
- Welfare Evacuation Site:** A photo of a person in a wheelchair at the entrance of a brick building, with a callout box labeled '福祉避難所' (Welfare Evacuation Site).
- General Evacuation Site:** A photo of a person in a wheelchair at the entrance of a modern building with large windows, with a callout box labeled '一般避難所' (General Evacuation Site).
- Home:** A photo of a person in a wheelchair sitting on a sidewalk in front of a store, with a callout box labeled '自宅' (Home).
- Web Application:** A screenshot of a web application interface for 'サンビレッジ高平台' (Sanbirejji Takahitachi). It includes fields for '開設可能' (Opening Possible), '開設状況' (Opening Status), and '設備' (Facilities). The '設備' section notes: 'バリアフリーが行き届いており、車いす使用者の受け入れが可能です。' (Barrier-free access is available, and wheelchair users can be accepted).

# 防災訓練（実証実験）の実際の様子



# 将来性

